

＼8月17日「ほうかご国際文化部 SP」を開催しました／

ベネズエラ出身の留学生、ミルラさんを招き、15名の中高生と優しい英語で楽しく交流しました！

初めに、アイスブレイクとして中南米（スペイン語圏）の伝統的なゲーム、「STOP」をしました。これは紙とペンを使って、指定された頭文字の英単語を書く言葉のゲームです。ミルラさんがお題として出した頭文字は「B」。参加者はそれぞれのカテゴリー（人の名前、国の名前、動物の名前、都市の名前、色や物の名前など）を一斉に書いていきます。最初にすべて書き終わった参加者が「STOP！」と叫ぶと全員がペンを止めて、それぞれ得点を確認します。他の人と被っていない単語であれば高得点がもらえるので、できるだけユニークな答えが求められ、各テーブルごとで熱中することができました！

ベネズエラの文化紹介では、ベネズエラの地理的な情報、有名な都市の紹介、食文化や伝統的な文化などを学びました。そして今回のメインである、ベネズエラ料理「アレパ」をみんなで作りました！

「アレパ」はとうもろこし粉を使った薄焼きのパンに、様々な具材を詰めて食べるベネズエラの人気料理です。人気の理由をミルラさんに聞くと、「冷蔵庫の中の余りものでも何でもアレパに詰めて美味しく食べることができるから！」とのこと。パンと聞くと生地作りに時間がかかると思いきや、材料を混ぜてまとまったら5分置くだけという、簡単な工程にみんなびっくり！その後、生地を4つに分け、形を整えてフライパンで焼いていきます。両面を5分ずつ焼くと焦げ目がつき、切り目を入れて好きな具材を入れて完成です！具材にはハム&チーズとレイナペピアータ（鶏肉につぶしたアボカドと調味料を混ぜたもの）を用意しました。初めて食べるアレパの味に、参加者からは「おいしい！」「初めての触感で発見になった！」と食を通してベネズエラを知ることができました。アレパの試食をしながらのフリートークでは、ミルラさんが各テーブルを回りながら、参加者のみなさんと交流することができました。

イベントの最後には数名の参加者から感想を発表してもらいました。ネットのニュースや教科書だけではなく、実際にその国出身の人と英語を通して会話をしたり、実際にその国の食べものを作ってみる、食べてみることから、色々な国の文化に興味をもつきっかけになると感じました。参加者からは「ベネズエラの朝の様子。たくさんの鳥、カラフルな町が印象的だった！」、「レイナ・ペピアータがすごいおいしかった！」、「ベネズエラについて興味が沸いた。食べたことない味に出会えた！」などの声を頂きました。

ミルラさん、参加者の皆さん、ありがとうございました！！





ベネズエラ文化紹介



Arepa "Reina Pepiada"
Traditional Venezuelan Food



交流の時間



アレパ作り



新しい友達



アレパが焼けたよ



ほうかご国際文化部
Special

17 August 2026

@まちなかキャンパス

